

魅力

自然  
歴史・文化  
芸能・スポーツ  
体験・イベント

## 教育旅行を中心に本物の体験にこだわり続ける体験観光のパイオニア

官民の出資により現地受入型の旅行会社を設立し、自然や暮らしといった地域資源を活用した体験観光に全国に先駆けて取り組んだ地域。地元農家等との連携により、教育旅行向けを中心とした体験メニューは年々充実しており、平成16年に約6,600人だった民泊者数は、平成19年(11月現在)には約8,500人と着実に増加。



りんご園での農業体験

### 宿泊者数(農家民泊)

平成15年(2003)	4,850人
平成16年(2004)	6,600人
平成17年(2005)	7,200人
平成18年(2006)	7,500人
平成19年(2007)	8,500人

※平成19年については、11月現在の途中集計数値で、飯田市周辺の地域の合計

### 農業体験者数

平成15年(2003)	16,400人
平成16年(2004)	21,400人
平成17年(2005)	23,800人
平成18年(2006)	23,500人
平成19年(2007)	25,200人

取組

PR・誘致活動  
人材育成  
体験・イベント開催  
広域連携の促進  
地場産業

### ほんもの体験



ラフティング体験

### 地元農家等との連携による体験メニューの充実

多くの観光客が訪れる長野県にあって、観光名所に乏しい飯田では低迷が続いていたが、こういった状況を打破すべく、主として教育旅行向けの体験観光企画が生み出されたのが平成7年。さらに平成13年には、周辺自治体や民間の出資により、地域受入型旅行会社「(株)南信州観光公社」が設立されたことで、体験観光商品の企画から旅行エージェントへのプロモーション、受入先との各種調整から受入先の人材育成や講習・指導等を一手に行うことが可能な体制が整い、現在でも、全体の約9割が学校単位の受け入れとなっている。



よこね田んぼの田植え

また、当初体験ツアーの宿泊先として協力可能な農家は40件程度であったが、各農家を訪問して直接受け入れをお願いする等、関係者による粘り強い呼びかけを行った結果、現在では飯田市周辺の約400軒にまで増加し、幅広い体験メニューが選択可能となっている。なお、受け入れに際しては、普段の生活のありのままの姿で受け入れる旅館宿泊と組み合わせる等、なるべく負担が掛からないよう配慮し、取り組みを継続して実施。

### インストラクター講習会

都市農村交流の受け入れ体制を整備するため、周辺の地区毎に交流推進グループが結成されており、受入農家の資質向上のためのインストラクター講習会が毎年開催され、体験者からは「家族の一員のようで、心と心の本物の交流ができた」と好評。

また、全国の団体・行政機関向けの視察研修や、大学観光学部等向けのフィールド研修の受け入れにも積極的に取り組み、本物志向の体験プログラムが可能な人材を育成中。



車座研修会

長野県飯田市観光課  
TEL:0265-22-4511 URL:<http://www.city.iida.nagano.jp>  
(株)南信州観光公社  
TEL:0265-28-1747 URL:<http://www.mstb.jp>